

# 文-80

## みたいです / ようです

N1	は	N2 A AN V	みたい	です
----	---	--------------------	-----	----

N2 / A / AN / V : 常体形

ただし、「N2だ N2」「ANだ AN」

N1	は	N2 A AN V	よう	です
----	---	--------------------	----	----

N2 / A / AN / V : 常体形

ただし、「N2だ N2の」「ANだ ANな」

### 基 本

#### 例 文

- ① 電気がついていません。留守みたいですね。
- ② A : 犬がすごくほえていますよ。散歩に行きたいみたいですよ。  
B : いいえ、あれは、おなかがすいているんですよ。
- ③ とも子さん、中田さんが好きみたいですね。中田さんがいないとつまらなそうです。
- ④ 足音がします。だれか来たみたいです。
- ⑤ 中山さん、今日パーティーがあることを知らないみたいですよ。さっき、帰るしたくをしていましたから。
- ⑥ 熱があるみたいなんです。早退してもいいですか。
- ⑦ 最近ちょっと太ったみたいです。去年買ったズボンがきついんです。

#### 解 説

- A. その場の状況やすでに知っていることなど客観的な事実をもとにした話し手の推量を述べるときに使う。(例文①～⑤)
- B. 話し手自身の印象や感じ、症状などをもとにした話し手の推量を述べるときに使う。  
(例文⑥⑦)
- C. 否定形では使われない。
- D. N1 が何であるかわかっている場合は、「N1 は」が省略されることがある。(例文①②⑥⑦)

例 文

⑧ 先月行った調査を見ると、物価は去年より下がっているようです

⑨ (テレビでニュースキャスターが)

ただいま、臨時ニュースが入りました。 ×島の近くで飛行機事故があったようです。  
詳しいことがわかりましたら、すぐにお知らせします。

⑩ (マラソンのテレビ中継で)

あっ、選手が来ました。どうやら彼が一位の選手のようです。

解 説

E. 「ようです」は、「みたいです」と同じように使われるが、書きことばや改まった話しことばで使われることが多い。(例文⑧～⑩)

先生へ

話し手の意志的な行為の推量には使わない。

「みたいです」と「ようです」は、おおよそ話しことばと書きことばで使い分けされているが、あらたまった会話、手紙やEメールなどでは、その使い分けがあいまいになる。

「みたいです / ようです」と「そうです」(様態)(p.222)との違い。

みたいです / ようです	<ul style="list-style-type: none"> <li>その場の状況など客観的な事実からの話し手の推量。</li> <li>過去のできごとについても推量できる。</li> </ul>
そうです (様態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接そのものを見ての話し手の印象や推量。</li> <li>現状から判断した話し手の予想。</li> </ul>

例1 (ある料理を食べている人がたくさんいるのを見て) おいしいみたいですね。

(その料理を見て) おいしそうですね。

2 (部屋の電気が消えているのを見て) もう寝たいみたいですよ。

(赤ちゃんがあくびしているのを見て) もうすぐ眠りそうですよ。

ほかのものに例えて何かを説明するときに使う比況の「みたいです / ようです」は、ここでは扱わない。

例1 今日は暑くて、まるで夏たいみたいです。

2 まるで日本人のように日本語を話します。

最初に「みたいです」だけを使って、用法を理解させるとよい。

**【関連項目】**

活-05 常体形  
文-71 そうです(様態)  
文-79 Vようになります

**【「れんしゅう編」の練習】**

20-2 お化けアパート  
20-3 留学生が見た日本  
20-6 いろいろな未来  
20-7 未来のニュース  
20-9 わたしたちの未来